

2010年5月21日

低温排熱を利用する吸着式冷凍機・デシカント機器向け
ゼオライト系水蒸気吸着材AQSOA®の本格製造設備が竣工

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区 社長：吉田 宏）は、新たに5億円を投じ、ゼオライト系水蒸気吸着材AQSOA®の新規製造設備を当社直江津工場にて完成させ、本日、現地にて竣工式を実施いたしました。

当社のAQSOA®は、一般的な吸着材に使用されるシリカゲルと比べて効率よく水蒸気を吸着でき、かつ低い40℃～80℃という温度領域でも水蒸気を放出（再生）できるという独自の特長を有した合成ゼオライト系の素材で、排熱を利用した吸着式冷凍機、デシカント除湿機などに用いられます。低温で再生が可能のため、従来、利用することができなかった領域の排熱や太陽光を熱源とすることができ、大幅な省エネを実現できます。

当社は、すでにAQSOA®を用いた吸着式冷凍機・デシカント除湿機用の部材、ユニットの製造販売をしております。今後、市場の急激な立ち上がりが予想され、既存の設備では、その需要に対応するのが難しくなることから、今般、新たに5億円を投じ、AQSOA®の新規製造設備建設を進めて参りました。

当社は、本設備の新設により、現時点で見込まれる需要への供給体制を整え、最終製品の供給および品質のさらなる安定化を図り、今後、急速に拡大が見込まれる省エネ機器市場のニーズに的確に応えることによって、本事業の拡大と省エネを通じた社会への貢献を図って参ります。

<新規設備の概要及びその他の設備>

1. 新規設備の生産能力 : 150トン/年
2. 投資額 : 約5億円
3. 竣工 : 2010年5月21日
4. 所在地 : 新潟県上越市福田町1



AQS0A®製造設備外観



起動式の模様



ゼオライト系水蒸気吸着材AQS0A®

＜本件に関する報道関係のお問合せ先＞
三菱樹脂株式会社 総務部 広報室
TEL:03-3279-3800